

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和2年7月28日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足2-1-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三菱ロジスネクスト株式会社 代表取締役社長 久保 隆

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001：2015／JIS Q 14001：2015
適 用 範 囲	三菱ロジスネクスト株式会社 本社・京都工場、滋賀工場、安土工場、羽生工場、 ニチユマシナリー新川崎事業所、東日本統括部、 オンサイト研修センター、ユニキャリアハンドリングシステムズ
導 入 年 月 日	2005/9/16
認 証 番 号	JQA-EM4909
基 本 方 針	添付のとおり（環境マネジメントマニュアル抜粋）
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2018年度から2020年度の3か年目標（環境目的）を次のとおり定めた。 ・環境活動を事業活動のひとつとして位置づける ・環境法令順守 ・製品使用によるCO2の削減貢献量の算出方法や基準を定める ・グリーン調達を推進 ・2020年度の廃棄物排出量原単位を、2017年度比で3%改善 ・2020年度の国内のVOC排出量原単位を、2017年度比で3%改善 ・環境啓発活動を積極的に行う ・2020年度のCO2排出量原単位を2017年度比で3%改善 ・2020年度の水使用量原単位を2017年度比で3%改善 ・製品/部品輸送に伴う省エネ、省資源について原単位で前年度より改善
目標を達成するための取組の内容	・ISO審査における拡大認証を円滑に行う ・グループ会社の環境活動のレベル向上 ・開発車の製品使用時のCO2排出量を前モデルより改善 ・製品に含まれる環境負荷物質低減推進 ・廃棄物の分別徹底や環境意識向上 ・VOC排出量の適切な把握 ・地域貢献活動への参加 ・設備投資や工数低減活動実施 ・設備改修と節水啓発 ・梱包方法見直し、梱包材再利用、通い箱化推進
目標を達成するための取組の進捗状況	・内部監査、監査員のスキル向上教育実施 ・グループ会社の環境監査と結果の情報共有 ・CO2排出削減量算出のための基準づくり ・六価クロム部品の削減対応、SVHC調査実施率向上、 「禁止物質の不含有宣言書」提出率の向上 ・環境パトロールによる分別啓発 ・予定した環境負荷低減に寄与する設備投資 ・配管設備点検、修理 ・簡易梱包、モデルチェンジ車に関わる部品の通い箱化
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2019年度までの成果、評価については次のとおり。 ・拡大すべき認証範囲を計画的に拡大 ・グループ会社をサンプリングして環境監査実施 ・開発車のCO2削減量を算出 ・六価クロム部品の削減を継続 ・原単位で廃棄物排出量は悪化傾向 ・原単位でCO2排出量は改善傾向 ・原単位で水使用量は悪化傾向 ・原単位での梱包材使用量は改善傾向
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規制登録簿を作成し、毎年、順法性評価を行うとともに、適宜、法規制登録簿の見直しを実施している。 行政当局からの違反の指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、年1回、3月にマネジメントレビューを実施している。 前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。